

# Ai愛労連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7  
労働会館東館3F  
TEL 052-871-5433  
FAX 052-871-5618  
URL http://www.aioren.gr.jp  
2018年4月号  
発行人 知崎 広二

消費税増税中止！ロングラン宣伝

■とき 3月31日(土)11時~16時  
11~13時 愛労連、自治労連など  
13時~ 消費税なくす会、民商など  
■ところ 栄メルサ前  
※11~12時は「憲法と平和を守る愛知の会」と一緒に宣伝します。



車両50台が連なって訴えた自動車デモ (2月25日)

2月に入り、要求実現に向けての様々な取り組みがおこなわれています。  
2月12日には第39回トヨタ総行動を開催し、山ノ手公園でおこなった決起集会には全労連や東海各県から600人が集結し、トヨタ本社まで「トヨタは内部留保を労働者・下請企業に還元せよ」と訴えました。

2月25日には愛知春闘共闘に結集する交通運輸産業に闘わる労組が集まり、「18国民春闘勝利！長時間労働の是正で運輸の安全を！」と訴えながら自動車デモを実施。10時に始まった決起集会では、尾崎副実

交通運輸労働者の雇用と地位を確保しよう

2018春闘はヤマ場を迎えています。愛労連の各組合は3月14日の集中回答日・翌15日にストライキを含む統一行動などを配置して、団体交渉を精力的にすすめています。「8時間はたらいで暮らせる賃金を」「長時間労働なくせ！」と引き続き、職場・地域で要求実現に全力をあげていきましょう。

## すべての組織で粘り強くたたかおう



トヨタ総行動のデモ行進①、JMITU文化シャッター名古屋支部のストライキ②



港の総行進でデモ行進 (2月22日)

行委員長が「政府の規制緩和によって過当競争による賃金の低下、労働者不足、労働条件の大幅改善、重大事故の多発などを招いている。交通運輸労働者の雇用と地位の確保、安心と安全を確保しよう」と力強くあいさつ。集会後にはタクシーやトラックなどの車両約50台が連なり、名古屋港から名古屋市役所前までデモ行進を行いました。

県下では2月22日を中心に地域総行進がとりくまれました。早朝は128カ所の駅頭で宣伝行動を開催。「賃上げで地域経済を元気に」「まやかしの『働き方改革』ではダメ」「平和憲法を守れ！3000万人署名を安倍さんに」と書いたチラシを配布しました。

JMITU文化シャッター名古屋支部でストライキ  
民間の単産ではアンケートや職場要求討議を通じ、要求提出がすすめられています。JMITU文化シャッター名古屋支部は要求額2万円に対し、正社員平均4800円との定昇に満たない低額回答を受け3月8日にストライキを決定。平田副委員長と榎松愛労連議長が激励に行きました。

# 長時間労働なくせ！

最賃生活は「生きていく楽しみがない」  
2月1日から28日まで最低賃金生活体験に100人超がとりくみ、現在まごに入っています。  
1カ月の設定額(12万4919円)を大幅にオーバーした人からは、「しんどい、金が足りない。生きていく楽しみがない」「休みの日に遊びに行かない、趣味を我慢すれば生活できると思うが、それでは息抜きできない。最賃での生活は厳しい」と感想が寄せられ、設定額に近かった人も「病院に行くことがなかったのでも多少の赤字ですんだが、他の月ならもっとかかると安定して最低限度の生活ができると思えない」と話しています。

愛知の参加者から「3000万署名とヒバクシャ国際署名を病院内でとりくみ、対話しつつ署名を進めている(尾張健友会)。「次の戦争は核戦争になる、子どもや孫に平和な日本を渡さなければいけない。3000万署名を組合員ひとり5筆を集めようと呼びかけている」(年金者

の日に遊びに行かない、趣味を我慢すれば生活できると思うが、それでは息抜きできない。最賃での生活は厳しい」と感想が寄せられ、設定額に近かった人も「病院に行くことがなかったのでも多少の赤字ですんだが、他の月ならもっとかかると安定して最低限度の生活ができると思えない」と話しています。

富士山に向かって砲撃！  
ビキニデー集会の前日には、東富士演習場の基地調査も行われました。富士山麓の広大な土地で、自衛隊の10式戦車が大きな発射音をたてながら、世界文化遺産の富士山に向かって実弾演習を行っていました。演習場は日米で共同使用され、その費用は「思いやり予算」で日本の負担です。日米一体の軍事体制を見せつけられました。

超高齢社会に向けて、健康寿命を延ばすことが喫緊の課題となっています。その中で「健康格差」の問題がクローズアップされています。先日この問題について20年前から追跡調査を重ねている近藤克則さん(千葉大学予防医学センター)の報告を読む機会がありました▼低学歴・低所得ほど死亡リスクが高くなる▼低所得でも健康な人、反対に高所得なのに不健康な人もいます。その特徴を調べたところ、「人と人のつながり」が大きな要因だということです▼参加組織の種類が多い(3種類以上)ほど要介護認定のリスクは半減する。また、組織の種類として、は、スポーツ、趣味、町内会に参加している人が要介護認定の発生リスクが有意に低い結果でした。残念ながら政治、市民運動の参加では有意の差は出ていません▼別のデータに、ほとんど笑わない人では毎日笑う人と比べて健康感が1.5倍も悪い。また、ポジティブ感情が高い人ほど認知症のリスクが半減。という結果もあります▼「やらなければ」「行かなければ」という義務感や束縛ではなく、ポジティブ思考で笑いの絶えない楽しい活動をする。「人とつながり健康になる」ことを組合活動の新たな視点にしていきたいと感じています。(S)

**THE 花見**  
 日時 4月7日(土)18:30~  
 場所 鶴舞公園(昭和区)  
 参加費 1000円  
 主催 愛労連青年協議会  
 ※交流の中で「最賃生活体験報告会」もおこないます。

2018年 3.1ビキニデー

## 核兵器禁止条約を力に 核兵器のない世界を

2月27日から3月1日まで「被爆64年3・1ビキニデー」が静岡の焼津市で開催されました。全国から1800人が集まり、愛知からも自治労連、医労連、生協労連などの組合員をはじめ97名が参加しました。今年も集会は米国トランプ政権が従来の核軍縮でなく核戦争を進める「核体制見直し(NPR)」を発表し、それを日本政府が高く評価するという世界の核兵器廃絶の流れに日米の両政府が逆行する情勢下の集会でした。

子どもや孫に平和な日本を  
愛知の参加者から「3000万署名とヒバクシャ国際署名を病院内でとりくみ、対話しつつ署名を進めている(尾張健友会)。「次の戦争は核戦争になる、子どもや孫に平和な日本を渡さなければいけない。3000万署名を組合員ひとり5筆を集めようと呼びかけている」(年金者

超高齢社会に向けて、健康寿命を延ばすことが喫緊の課題となっています。その中で「健康格差」の問題がクローズアップされています。先日この問題について20年前から追跡調査を重ねている近藤克則さん(千葉大学予防医学センター)の報告を読む機会がありました▼低学歴・低所得ほど死亡リスクが高くなる▼低所得でも健康な人、反対に高所得なのに不健康な人もいます。その特徴を調べたところ、「人と人のつながり」が大きな要因だということです▼参加組織の種類が多い(3種類以上)ほど要介護認定のリスクは半減する。また、組織の種類として、は、スポーツ、趣味、町内会に参加している人が要介護認定の発生リスクが有意に低い結果でした。残念ながら政治、市民運動の参加では有意の差は出ていません▼別のデータに、ほとんど笑わない人では毎日笑う人と比べて健康感が1.5倍も悪い。また、ポジティブ感情が高い人ほど認知症のリスクが半減。という結果もあります▼「やらなければ」「行かなければ」という義務感や束縛ではなく、ポジティブ思考で笑いの絶えない楽しい活動をする。「人とつながり健康になる」ことを組合活動の新たな視点にしていきたいと感じています。(S)

# 天守閣の木造化ではなく、耐震化や資料の整備でさらに魅力的に

## 革新市政の会が名古屋城見学会を開催



天守閣を見上げ木造化について考える参加者

3月3日(土)に「名古屋城現地見学会」が革新市政の会主催でおこなわれ34人が参加しました。

現在の天守は戦後復興の平和のシンボル

河村市長が進める天守閣木造化には①現在の天守閣は市民が寄付金を集め、二度と戦火で燃やしてはならないという戦後復興の平和のシンボルとして建てられたものである。②エレベーターの他にも建築基準法、

名古屋城は北側から見るのが良いのですが、現在は松などが手入れされず景観を損ねていました。説明によると天守閣は太平洋戦争時に焼け落ちています。そのときの熱により石垣が焦げたり、ひび割れたりしています。

また、石垣の一部が外側にはみ出す「はらみ」という現象が見られました。この「はらみ」は大地震が起きた際に石垣が崩れやすくなる要因と言われています。



次長書記青木を語る

城内の展示には空襲で焼けた時の映像や市民の寄付で再建されたことの説明は全くありませんでした。

今ある庭園や城郭全体、歴史的資料を整備したり、耐震化などをすすめることで市民が安心して訪れることができます。天守閣を新

消防法の規定があり「史実に忠実な」「寸分違わぬ木造」天守閣には人が入れない。③建設費を入场料で賄うとしているがそもそも入場者の見込みが過大。などの問題があります。この日はそんな名古屋城の現状について説明を受けたのち、内堀の北側から名古屋城を見てまわりました。

3月3日(土)、コープあいち労組やコープあいち九条の会、地域と共同の研究センター、消費者行動ネットワークなどが呼びかけた

実行委員会が主催する「くらしと平和・憲法を語るつどい」が開催され、会場となったコープ上社店2階の組合員集客室には約30人が集まりました。

師の相馬伸郎さんや「ST OP改憲ママアクション@あいち」の増田奈緒子さんから憲法への熱い思いが語られ、参加者のリレートークに続きました。

コープあいち労組の青木書記次長は、「安倍首相のやろうとしている改憲や問題点が多くの方に知られていない。署名をやることも大事ですが、身近な人につかりアピールしていくことが大事」と発言。その後参加者から次々と平和の大切さや署名のとりくみなど奮闘が語られました。

# 第一交通をともに

NO.7

2月22日、第一交通をまとめた会社にする会と第一交通労組は愛知県と名古屋市に対し、法令違反を指摘し、法的対応を求めました。名古屋市の担当課が対応し、航空対策課があるとの認識は共有し、屋空港のタクシールを利用するタクシールについては許可や拒否する権限

# 県と名古屋市に取引をやめるよう要請

反の相次ぐ第一交通との取引は住民の安全・安心を守る自治体としてふさわしくないとして、取りやめるよう要請しました。

名古屋市の担当課が多数に渡るため、広聴課が対応。大切な問題で、あるとの認識は共有し、どの部署で対応していくのかは早急に調整することを要請しました。

# OPINION オピニオン

これ以上何を削って暮らすのか

政府は来年度から生活保護費を最大5%削減するとしています。母子世帯では前回の引き下げと合わせて一割を超えるカットになります。

電気の基本料金のように最低生活にかかる費用はすでに決まっています。削れるものが多く、「これ以上何を削れ」と悲鳴があがっています。

# 命の値段を削るな!

保護基準は、就学援助や住民税非課税など国民生活の47種もの基準に影響します。最低賃金とも比較されてきました。そのため日本弁護士連合会

もう一度の引き下げを厳しく批判しています。

生活保護基準は憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度」の具体的な基準です。これは物

引き下げられています。

政府の都合の良い制度に

年金も「マクロ経済スライド」などの名で物価

新設した生活保護物価指数は「偽装」数値で裁判で争われています。このときはお笑い芸人の母親をターゲットにしてバツ

%の引き下げ。厚労省が

基準の引き下げがさらなる貧困を拡大する「貧乏人競争」を強いることは許せません。職場や地域で声を上げましょう。

上がったとしても年金を上げない仕組みにするなど、政府の都合の良い制度にさせられています。

4年前には自民党の選挙公約にあわせて最大10

シグが行われたため、マスコミも大きく取り上げませんでした。しかし、今回の引き下げは新聞各紙が社説で批判するなど全く違う反響です。

子どもの貧困、下流老人などアベノミクスの中で貧困が大きな社会問題になり、緊急な対策が求められています。今回の引き下げはこれに逆行するものです。

8時間働いたら帰る、暮らせるワークルールをつくらう。

インターネット署名に賛同を!

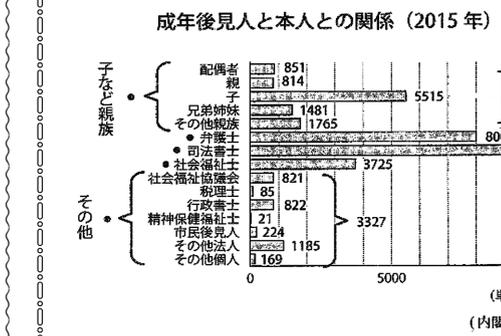
1日8時間、週40時間以内の労働でまともに暮らせる社会を実現して下さい。他

発起人: 雇用共同アクション(全労連・反貧困ネットワークなど)

# 老後に備える 財産管理② 成年後見制度

認知症などで判断能力が衰えてきた人の財産管理や契約行為を支える仕組みが「成年後見制度」です。訪問販売で不必要な高額商品を購入させられたような場合に、後見人が後から契約を無効にすることが可能。入院費や介護費の支払いのための預金引き出しなどの財産管理も後見人が行うこととなります。

後見制度には、家庭裁判所に本人や家族が申請し、本人や家族が



### 春の組織拡大スタート

## 安心して働き続けられる保障 共済の活用求めて組合結成

新規採用者100%加入などをめざす春の組織拡大月間が3月1日からスタートしました。月間開始を元気づけるように医労連と福祉保育労で二つの組合が結成されています。

ステーションや訪問看護を運営する心の泉で2月23日に組合を結成しました。きっかけは昨年11月に開催した「介護セミナー」の案内と共済のおすめを県下3600事業所に送付したところ、同施設より「職員が安心して働き続けられるよう保障を」との連絡がありました。

早急、共済を活用できるように組合づくりがはじまり3カ月で結成。結成時は25人でしたが、仲間は増え31人になり、ユニオンショップ協定も結ばれました。福祉保育労では、2月21日に名古屋市昭和区にある、まつかぜ保育園に働く仲間10人で分会結成。すでに分会のある法人での新園設置に伴った結成でした。

4月にはさらに仲間を増やしたいと準備を進めています。新規100%加入めざし月間準備各単産では新規採用者の加入に向けた準備もすすまられています。

自治労連では、15単組52人が参加した組織集会で、月間に向けた意思統一をおこないました。すでに採用者への事前研修が始まっており、研修会場の組合説明会を開催。蒲郡市職では100%、半田市職と碧南市職では8割の新人が加入を決めています。

医労連では、月間中に2000人の拡大目標をかかげ、2月24日、25日に13組織37人が参加して組織拡大合宿を開催。説明会を成功に入りに取り組んでいます。

させることがカギと、昨年15分の説明会で75%の加入を勝ちとった、南医療生協労組の説明会シナリオにもとづき進行を体験学習しました。

地域労組きずなでは、定期大会までの年間目標である250人現勢をすでに達成。月間を2月から6月に設定し、30人以上の拡大を目標に職場や地域でのつながりを活かしての仲間増やし、労働相談を通じての加入にとりくんでいます。



福保労「まつかぜ分会」①、医労連「心の泉ユニオン」組合結成に集まった仲間②

### 福保労 組織拡大総がかり作戦

## 未組織の仲間と「紙芝居 実践交流会」で学ぶ



紙芝居実践交流会で話す講師の松井さん

名古屋市内の小規模保育事業所を対象に、福保労が組織拡大計画を進めています。未組織訪問では市内約70か所を福保労組合員や愛労連組織拡大総がかり推進委員と訪問。直接、小規模保育事業所の実態を目にする機会にもなりました。

実践を深めたいという声が聞かれたため、楽しく参加でき、保育に活かせる学習会をやろうと2月12日に「紙芝居実践交流会」を開催しました。未組織事業所から3名の参加があり、講師の松井エイコさん（壁画家、紙芝居作家）から、絵本と紙芝居の共感する世界観の違いを通して、どう実践するかを学びました。

参加者からは「実践を学ぶ場が少ない」という声を改めて聞きました。今後は参加した未組織者個人を支部・分会につなげる取り組みを広げ、組織拡大を目指していきます。



2/17~18 全労連東海北陸ブロックの春闘交流集会に7県から40人参加。「安倍働き方改革の狙いと課題」について学習した



3/2 4月から労契法・無期転換ルールの本格実施を受け、全国で労働相談ホットラインを開催。愛知は7件に対応した



3/4 愛知学習協創立55周年記念のつどいを開催。第一部の学習では若者の傾向について青山弁護士から話を聞いた



3/7 ノーモア・ヒパクシャ愛知訴訟の高裁判決で逆転訴訟。被爆者2人の要医療性を否定した地裁判決を是正した判断

**みんなのとりくみ お寄せください**

単産・単組や地域でのとりくみを写真（デジタルでも可）と簡単な文章でお寄せください。しめきりは毎月4日までに愛労連事務局必着。詳しくは…

TEL 052-871-5433(龍尾)まで  
E-mail post@airoren.gr.jp

### 女性協ニュース NO. 20

## 平和を願ったいわさきちひろさんの想いを聞く



3月8日、国際女性デー愛知県集会を労働会館東館ホールで開催し、75人が参加しました。

オープニング企画では、河合楽器の先方で行く「カワイイ大正琴グループひまわり」のみなさんによる演奏を楽しんだ後、記念講演へ。

ちひろ美術館・東京の主任学芸員である原島恵さんから、「日本の絵本100年のあゆみ」絵本に託された平和への想いと題したお話を聞きました。

ちひろ美術館では昨年11月から今年1月まで「日本の絵本100年の歩み」展が開かれました。原島さんは、平和を願った「いわさきちひろ」の想いとあわせて絵本の歴史について順を追って解説しました。

戦時下では子ども向けの絵本にも言論統制がされ、戦争が美化されます。戦後、民主主義の時代に入り、いわさきちひろや戦争を体験した多くの画家が「反戦」の立場で絵を描いています。原島さんは、「戦争の悲惨さは子どもたちの手記を読めば十分すぎるほどわかる。どんなに可愛い子どもたちがその場におかれていたかを伝えるのが私の役目」とちひろが絵を描き続けてきた想いが語られました。

講演後の活動交流では、愛障協から、「障がい者のグループホームの整備をすすめていること」、新婦人愛知県本部から、「金山駅東口に立つ『風俗広告』を撤去させる運動」、STOP改憲ママアクション@あいちの方から、「3000万署名のとりくみ」がそれぞれ発言されました。

スライドを使ってお話をしている原島さん

### 浅田 薫の 文化の薫り

**ペットの旅立ち**

我が家の犬が亡くなった。もうじき15歳だった。ペットを飼うのは初めてで分からないことが多い。本を買って勉強した。

子犬はともかわい。キャンキャンと吠えて近寄ってくる。ひさのに乗せると暖かくて心地よい。

お手やお座りなんかもちやんとできるような夜泣きとの格闘の日々

になると益々愛おしくなってきた。家族の生活や健康が脅かされるような状況になった。そこで、水は飲めるが食事がほとんどできなくなってきた。最期までの1週間ほどは寝たきり状態となった。見ていて辛い。

朝の5時頃に子どもから起こされ、その後30分ほどして旅立っていった。家族3人で見送ることができたのは何よりだった。パートナーは犬に触れて「よう頑張った」と言った。

